



## ハーレーダビッドソン「バガー・ワールドカップ」公式タイヤサプライヤーに就任

2026年03月19日

住友ゴム工業株式会社

DUNLOP（社名：住友ゴム工業(株)、社長：山本 悟）は、当社グループ企業であるダンロップ・タイヤ・ノースアメリカが、2026年より開催される新たな国際レースシリーズ「ハーレーダビッドソン・バガー・ワールドカップ」において、公式タイヤサプライヤーおよびテクニカルパートナーに就任したことをお知らせします。



本シリーズは、MotoGP開催週末に合わせて、北米および欧州の主要サーキットで開催されるグローバル選手権です。DUNLOPは、高性能バガーマシン特有の要求性能に対応した専用レーシングタイヤを供給するとともに、トラックサイドでの技術サポートを通じて本大会を全面的に支援します。



2025年 MotoAmerica King Of The Baggersでの走行シーン

ハーレーダビッドソンとDUNLOPとの協業は、1981年に純正装着タイヤの供給を開始したことを契機に本格化しました。その後、両社はタイヤの開発・生産分野で連携を深め、2000年にはハーレーダビッドソンのロゴを刻印したコ・ブランディングタイヤの展開を本格的に開始しています。

近年では、市販車向けのみならずレース分野にも協業を拡大しており、MotoAmerica「King of the Baggers」クラスではDUNLOPがワンメイクタイヤを供給し、車両性能を足元から支えています。

DUNLOPは、今回の参画を通じて、両ブランド間の高い信頼関係と技術的パートナーシップをさらに強化するとともに、北米市場およびグローバルモータースポーツにおけるDUNLOPブランドの価値向上を図ります。また、最先端のレース環境で培った技術を今後の商品開発に活用していきます。

「ハーレーダビッドソン・バガー・ワールドカップ」は、2026年3月に開幕し、全6ラウンド（各ラウンド2レース制）の開催が予定されています。